

地域計画

策定年月日	令和6年3月29日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	会津若松市 (07202)
地域名 (地域内農業集落名)	湊地区 (赤井集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	176.67 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	169.93 ha
② 田の面積	164.51 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	12.16 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	56.18 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.40 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	11.88 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	8.82 ha
(備考)⑤について、実際に担う農地を特定できていないため、地域内の農業を担う者一覧の面積とは一致しない。一覧の面積は目標地図の状況に応じて更新を行う。	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>■人 ○2つの農業法人合わせて集落内農地の約46%を集積しているが、法人構成員の高齢化が進んでおり、後継者確保にも苦慮している現状である。 ○個人の担い手が耕作する農地についても、現状約46%の農地が60歳代以上の方が耕作する農地となっており、高齢化が進んでいる。 ○また、個人の担い手の一部に後継者候補はいるが、その方が就農するかは不明である。</p> <p>■農地 ○畑地の維持管理が懸念されている。 ○担い手の耕作地が分散している。 ○規模縮小・リタイアの意向が示されている農地面積が引き受け意向のある面積を大きく上回っている。</p>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>○離農等で貸借が必要になった場合は、改善組合へ意思表示を行い、集積・集約化を考えながら引き受け可能な担い手へ利用調整を進めていく。 ○集落内農地の一部貸借が農業委員会の利用権設定等促進事業による利用権設定を活用した貸借であるため、契約期間満了後、農地中間管理機構を活用した貸借へ切り替える。 ○担い手の耕作地が分散している状況であるため、作業効率向上の観点から、農地中間管理機構及び目標地図を活用した集約化の検討を進めていく。 ○水稻の作付けが難しい田については、畑地化支援事業の活用について検討していく。</p>

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
○規模縮小・リタイアの意向が示された農地については引き受け意向のある農業者へ集積を進めるが、現状の引き受け意向には限度があるため、後継者の育成や湊地区内の他集落の農業法人及び改善組合との連携により集落農業の維持を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	64 %	将来の目標とする集積率	67 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
○担い手の耕作地が分散している状況であるため、農地中間管理機構及び目標地図を活用した集約化の検討を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
○規模縮小・リタイアの意向が示された農地については、可能な限り引き受け意向のある農業者へ集積を進める。 ○農地中間管理機構及び目標地図を活用し、農地の集約化について検討を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
○既に農地中間管理機構を活用し貸借している農地については、受け手が引き受け可能な期間契約を継続する。 ○農業委員会の利用権設定等促進事業による利用権設定を活用した貸借については、契約期間満了後、農地中間管理機構を活用した貸借へ切り替える。
(3)基盤整備事業への取組
○集落内農地の大部分は既に基盤整備を行っているが、字六切の農地が未整備の現状のため、今後の担い手への集積・集約化に向けて、新たなほ場整備事業について検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
○集落内法人に高齢化・後継者不足の懸念があるため、後継者の確保について検討していく。それが難しい場合は、隣地区内の他集落の農業法人及び改善組合との連携について検討していく。 ○集落内の後継者候補について、認定農業者や集落内法人を中心に、新たに引き受け可能な担い手への育成を目指す。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
○集落内の多様な担い手により集落農業の維持を図っているため不要である。

以下任意記載事項(地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策

○鳥獣による農作物の被害が増加していることから、電気柵の設置を行っているが、今後も实情に合わせて侵入防止柵の設置等の構築に向けて検討を進める。
○被害を受けた場所や農作物等を記載した鳥獣害被害マップの作成を行い、情報共有を行う。

⑦保全・管理等

○農地の維持・保全を図るため、多面的機能支払制度に集落として可能な限り継続して取り組む。
○集落内農地の全面積を担い手だけで維持管理していくことは困難であることから、集落内全員が活動に参加する組織を継続していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙の通り		154.32 ha	0 ha		154.32 ha	0 ha		
計	18経営体		154.32 ha	0 ha		154.32 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）案

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状				10年後 (目標年度：令和15年度)							
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
1	認農	経営体A	水稲	40.99	ha	-	ha	水稲	40.99	ha	-	ha	A	
2	認農	経営体B	水稲	33.34	ha	-	ha	水稲	33.34	ha	-	ha	B	
3	認農	経営体C	水稲	16.13	ha	-	ha	水稲	16.13	ha	-	ha	C	規模拡大
4	認農	経営体D	水稲	10.09	ha	-	ha	水稲	10.09	ha	-	ha	D	
5	利用者	経営体E	水稲	7.71	ha	-	ha	水稲	7.71	ha	-	ha	E	
6	認農	経営体F	水稲	6.89	ha	-	ha	水稲	6.89	ha	-	ha	F	規模拡大
7	認農	経営体G	水稲	5.35	ha	-	ha	水稲	5.35	ha	-	ha	G	
8	利用者	経営体H	水稲	4.87	ha	-	ha	水稲	4.87	ha	-	ha	H	
9	利用者	経営体I	水稲	4.78	ha	-	ha	水稲	4.78	ha	-	ha	I	
10	利用者	経営体J	水稲	4.73	ha	-	ha	水稲	4.73	ha	-	ha	J	規模拡大
11	利用者	経営体K	水稲	4.08	ha	-	ha	水稲	4.08	ha	-	ha	K	
12	利用者	経営体L	水稲	3.74	ha	-	ha	水稲	3.74	ha	-	ha	L	
13	利用者	経営体M	水稲	2.76	ha	-	ha	水稲	2.76	ha	-	ha	M	
14	利用者	経営体N	そば	2.59	ha	-	ha	そば	2.59	ha	-	ha	N	
15	利用者	経営体O	水稲	2.57	ha	-	ha	水稲	2.57	ha	-	ha	O	
16	利用者	経営体P	水稲	1.92	ha	-	ha	水稲	1.92	ha	-	ha	P	
17	利用者	経営体Q	そば	1.50	ha	-	ha	そば	1.50	ha	-	ha	Q	
18	認就	経営体R	野菜	0.28	ha	-	ha	野菜	0.28	ha	-	ha	R	